

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
 - (1) 与党陣営の動き
～米内務長官訪ベネ 鉱物分野に前進～
..... 1p
 - (2) 野党陣営の動き
～米政府 MCM 氏の帰国に忠告～
..... 3p
 - (3) 外国の動き
～米国 暫定政権を正式に政府と認識～
..... 4p
 - (4) 今週、来週の主なイベント
..... 5p
 - (5) 債券の元利不払い状況
..... 6p
2. ベネズエラの主要鉱物の埋蔵量、生産量、分布図
..... 7p

債券指標の動き

3. ベネズエラ債券・経済指標の増減
..... 12p

カントリーリスク分析



(写真) @delcyrodriguezv “米国 Doug Burgum 内務長官ベネズエラを訪問、暫定政権を正当なベネズエラ政府と認識”

一週間のまとめ (2026年3月1日～3月7日)

- (1) 与党陣営の動き ～米内務長官訪ベネ 鉱物分野に前進～

3月4日～5日にかけて米国の Doug Burgum 内務長官がベネズエラを訪問した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1340](#)」)。Burgum 内務長官がベネズエラを訪問した主な目的は2つ。

- 1点目は、ベネズエラと米国の外交関係を正式に再開すること。
 - 2点目は、ベネズエラの鉱物開発を制限する制裁を緩和すること。
- 1点目については「[1. \(3\) 外国の動き](#)」にて後述したい。

鉱物分野の動きについて、3月5日に Burgum 内務長官は米国・カナダ系の鉱物関連企業20社超とともにロドリゲス暫定大統領らと会談を実施。

POINT

米国の Doug Burgum

内務長官がベネズエラ
訪問。

米国 Gold Reserve

のベネズエラ事業再開

に向けて暫定政権と3
0日間の交渉を行うこ

とを許可。

OFAC 制裁ライセン

ス No.51 発行。ベネズ

エラ金公社 Minerven

との取引を許可。

ベネズエラの鉱物資源開発を本格化させるための投資計画や安全な採掘体制の構築、雇用創出の可能性などについて議論が行われた。

また、同日に米国の「外国資産管理局 (OFAC)」は、カナダの鉱山開発会社「Gold Reserve」に対して、30日間限定で暫定政権との交渉を認めるライセンスを付与した。今回の措置により、Gold Reserve はベネズエラでの鉱業プロジェクトや投資に関する協議を行うことが可能となる。

Gold Reserve は2008年～09年に故チャベス政権下でベネズエラの金鉱区を接収され、国際投資紛争解決センター (ICSID) に提訴。Gold Reserve が勝訴し、ベネズエラ政府は同社に約7.7億ドルを支払うよう命じられていた。

その後、16年8月に Gold Reserve は政府との賠償金返済スケジュールで合意。ベネズエラの金開発事業に再び参入するため、政府55%、Gold Reserve 45%の合弁会社「Ecosocialista Siembra Minera」を設立していた。

米国の経済制裁により同プロジェクトはとん挫していたが、今回のライセンス発行を受けて、本件が再び動き出す可能性がある。

また、Burgum 内務長官がベネズエラを離れた翌6日に OFAC は制裁ライセンス No.51 を発行。ベネズエラ産 GOLD に関連する活動を許可した。

内容は、米国への輸入、米国での精錬、米国からの再販売または輸出を前提として、ベネズエラ産 GOLD の輸出・販売・保管・購入・輸送などを許可するというもの。同取引に関与するベネズエラ政府、ベネズエラ金公社「Minerven」、Minerven が直接・間接的に50%以上の株式持分を保有する企業との取引も許可される。

また、米国系メディア「Axios」は、国際資源トレーダー「Trafigura」が、Minerven からベネズエラ産 GOLD 650～1000キロを購入する契約を締結したと報じている ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1340」](#))。現在の GOLD の市場価格で見ると数億ドル規模の取引になる可能性があるようだ。

他、英国 Shell がベネズエラでの事業再開に向けて複数の契約を締結した ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1340」](#))。

POINT

英 Shell ベネズエラ
の海上ガス田開発、モ
ナガス州の産油事業に
関する契約を締結。

トランプ政権 MCM
氏の早期帰国発言に難
色か。

トランプ大統領、MCM
氏に対して、「ベネズエ
ラ帰国は米国の戦略に
影響を与える可能性が
ある」と忠告。

今回の契約は、ベネズエラ海上のガス開発に加えて、モナガス州 Punta de Mata 地区にある Carito および Piritual 生産ユニットの開発も含まれている。

これらのプロジェクトを実行するにあたり、ベネズエラのエンジニアリング会社 Vepica、米国のエネルギーサービス企業 Baker Hughes、エンジニアリング企業 KBR など油田開発に必要な設計、技術支援、設備関連サービス会社とも契約を締結したと報じられている。

なお、米国政府は2月に制裁ライセンス No.49 を発行。

ベネズエラにおけるエネルギー投資契約の交渉や準備活動を認めている（「[カントリーリスク・レポート No.445](#)」参照）。

(2) 野党陣営の動き ～米政府 MCM 氏の帰国に忠告か～

3月1日 野党指導者マリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）は、自身の SNS にビデオメッセージを投稿。「数週間内にベネズエラへ帰国する」と発言した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1338](#)」）。

現在のベネズエラはロドリゲス暫定政権下で着実に立て直しが進んでいるが、MCM 氏がベネズエラに帰国すれば政情を不安定化させる要因になる。

この発言を受けてか3月6日にトランプ大統領と MCM 氏との間で2度目の直接会談が行われたと報じられている。なお、同会談は公開形式なものではなく、会談時間も10分以下の短い話し合いだったようだ。

匿名関係者の情報によると、トランプ大統領は MCM 氏に対して「米国政府はロドリゲス暫定政権をベネズエラの正当な政府と認識すること」「MCM 氏の帰国は米国の戦略に影響を与える可能性があること」を伝えたという。

実質的には MCM 氏に対して、ベネズエラへ帰国しないよう忠告しているように理解できるだろう。

POINT

(3) 外国の動き ～米国 暫定政権を正式に政府と認識～

今週の最も大きなニュースは、米国政府がロドリゲス暫定政権を正式にベネズエラ政府と認識したことだろう。

3月5日 米国国務省は、ベネズエラ暫定政権と外交関係および領事関係を再開させることで合意したとの声明文を発表した。今回の決定は Doug Burgum 内務長官のベネズエラ訪問に合わせて行われたもので、Burgum 内務長官とロドリゲス暫定大統領との間で最終確認が行われたものと理解できる。

また、3月7日にトランプ大統領は「今週、我が国はベネズエラ政府を正式に認めたことを喜んで報告する」「実際に我々は彼らを正当な政府と認識した」と述べた。

米国が暫定政権をベネズエラの正当な政府と認識することは、今後のベネズエラの政治・経済シナリオを大きく左右する。

まず、これまで政府認識の問題により外国で凍結されていたベネズエラ政府資産の凍結が解除される可能性がある。

また、債券については、債務再編交渉の大きな前進になる。

米国は、これまでマドゥロ政権をベネズエラ政府と認識していなかった。この認識により、マドゥロ政権がベネズエラ国債・PDVSA 社債の債務再編の交渉相手になり得ず、交渉がとん挫していた。しかし、米国がロドリゲス暫定政権を認識したことで、この問題が解消される。

また、米国が暫定政権をベネズエラ政府と認識すれば、米国の影響力を強く受ける IMF も同様の認識をする可能性が高まる。債務再編には IMF の支援が必要であり、債務再編が可能な素地が整うことになる。

ただし、実際に債務再編交渉が実行されるためには、トランプ政権が債務再編交渉を許可する趣旨の制裁ライセンスを発行することが必要になるだろう。ベネズエラの政治・経済安定に向けた動きは非常に早く進んでおり、債務再編交渉の再開も想定よりも早く実現するのかもしれない。

米国政府 ロドリゲス
暫定政権との外交・領
事関係を正式に再開。

正式に暫定政権をベネ
ズエラ政府と認識。

政府資産の凍結解除、
債務再編交渉にとって
大きな前進。

(4) 今週、来週の主なイベント

トランプ政権と暫定政権との関係改善に注目が集まっているが、欧州各国と暫定政権との関係も接近している。

3月5日には英国政府高官らがベネズエラを訪問。ベネズエラの外務省関係者らと会談を行った。

翌6日には暫定政権の Oliber Blanco 欧米担当次官が在ベネズエライタリア大使、オランダ大使らと協議を実施。

両国の関係改善について意見交換を行っている。

日本政府も欧米の流れに合わせて関係改善を進めることが望ましいだろう。

表： 3月1日～3月7日に起きた主なイベント

日付			内容
3月	1日	日	MCM氏 数週間内にベネズエラへ帰国すると表明
	2日	月	
	3日	火	
	4日	水	米国のDoug Burgum内務長官 ベネズエラ訪問
	5日	木	Burgum内務長官および鉱物関連企業20社超 暫定大統領と協議
			米国政府 ベネズエラ暫定政権と外交・領事関係を正式に再開
			英Shell ベネズエラでの事業に関して複数の契約を締結
			OFAC Gold Reserveに暫定政権との30日間の交渉ライセンス発行
			Trafigura ベネズエラ金公社MinervenとGOLD取引に関する契約締結
	6日	金	OFAC 制裁ライセンスNo.51発行 ベネズエラとのGOLD取引を許可
	7日	土	トランプ大統領 暫定政権をベネズエラ政府と認識すると発言

表： 3月8日～3月15日に予定されている主なイベント

日付			内容
3月	8日	日	
	9日	月	
	10日	火	
	11日	水	
	12日	木	
	13日	金	ロドリゲス暫定大統領 コロンビアのペトロ大統領とククタで会合
	14日	土	
	15日	日	

(5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（3月6日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,643.6	4,138.6
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,749.6	4,244.6
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	1,040.4	2,640.4
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,996.3	5,996.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,620.0	3,620.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,572.5	3,572.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	595.0	1,595.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	720.0	2,220.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	1,195.3	2,695.3
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	4,266.2	8,466.2
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	347.4	647.4
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	870.9	1,622.9
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	3,251.3	6,251.3
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,960.0	6,960.0
国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	700.0	1,950.0	
グレースピリオド満了未払					31,092	25,528.4	56,620.4
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,295	6,795.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,550	7,550.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,831	4,225.4
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,486	5,486.3
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	3,443	6,442.5
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,371	4,370.6
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,243	2,743.1
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,620	4,620.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,288	2,971.9
グレースピリオド満了未払					27,078	18,127.0	45,204.8
電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	442.0	1,092.0	
グレースピリオド満了未払					650.0	442.0	1,092.0
合計					58,820	44,097	102,917

(出所) Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

ベネズエラ主要鉱物の 基本情報を紹介。

2. ベネズエラ主要鉱物の埋蔵量、生産量、分布図

今週はベネズエラの鉱物資源に注目が集まる週となった。

本稿では、ベネズエラの主要鉱物資源「金(GOLD)」「鉄鉱石」「ボーキサイト」について、分布する地域はどこか、埋蔵量、生産量などを紹介したい。

ベネズエラには「オリノコ鉱物地帯 (Arco Minero del Orinoco)」という鉱物集積地域が存在する(下図参照)。この地域にGOLDをはじめとする主要鉱物が埋蔵されており、鉱物関連の開発が許可される地域となる。



(出所) ベネズエラ中央大学 " ARCO MINERO DEL ORINOCO, DIVERSIFICACIÓN EXTRACTIVISTA, VULNERACIÓN DE DERECHOS CONSTITUCIONALES Y RESISTENCIA"

POINT

「オリノコ鉱物地帯」の総面積は111,843.7km²。広大な地域のうち、実際に探査が行われたのは約5%。さらに探査段階が終了した後、実際の鉱物採掘が行われているのは全体の約1.5%のみとなっている。

鉱物はボリバル州など

オリノコ鉱物地帯の鉱物分布は下図の通り。オリノコ鉱物地帯は開発と行政管理を目的として「① Juana La Avanzadora」「② Manuelito Saenz」「③ Negra Hipolita」「④ Josefa Camejo」の4地区に細分化されている。

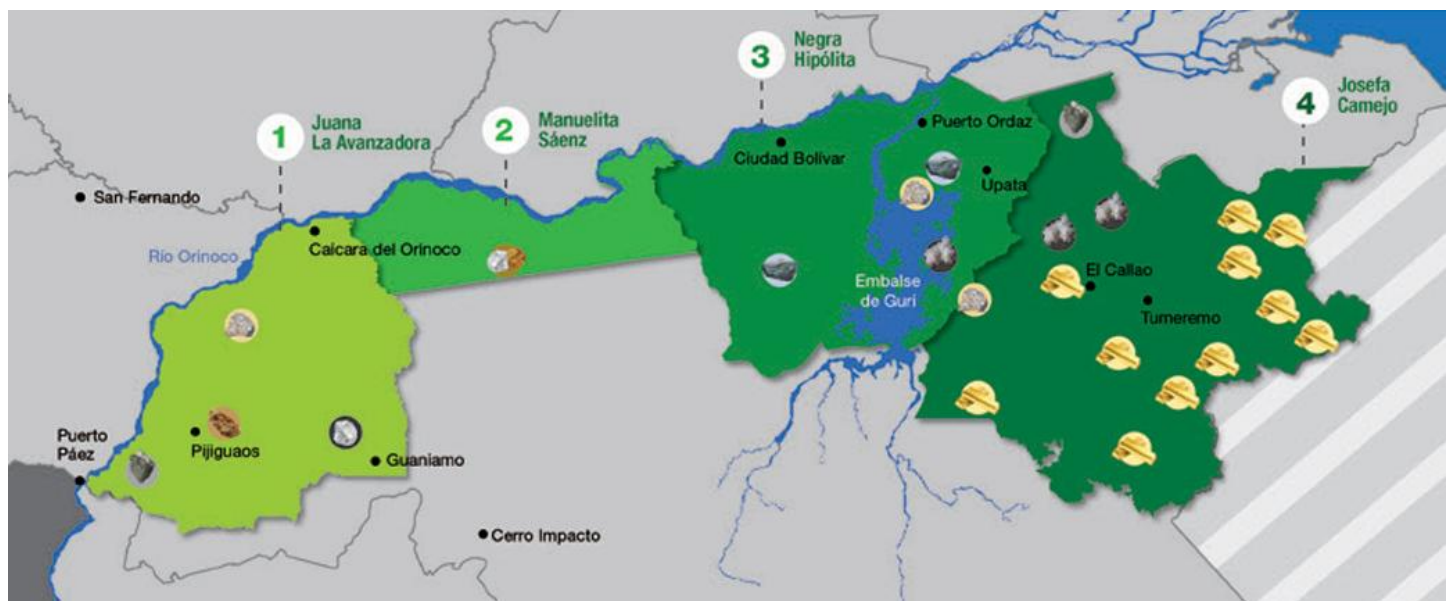
内陸に集中。

GOLDは、④ Josefa Camejo (ボリバル州南部およびアマゾナス州) に多く埋蔵されており、特に「El Callao」「Las Claritas」「Tumeremo」「El Dorado」が採掘の中心地になっている。



鉄鉱石は主に「③ Negra Hipolita (ボリバル州 Guayana 地域)」に集中している。代表的な鉱山は Cerro Bolívar、San Isidro、El Pao など。高品位の鉄鉱床が特徴。過去、鉄鉱石は国内の製鉄産業の基盤であり、かつては輸出産業としても重要な役割を果たした。日本企業も深く関わっていた分野である。

アルミニウムの原材料となるボーキサイトは、「① Juana La Avanzadora」の Los Pijiguaos (ボリバル州) に大規模鉱床が存在する。ベネズエラはかつて南米有数のアルミニウム生産国であり、日本企業も深くかかわっている。

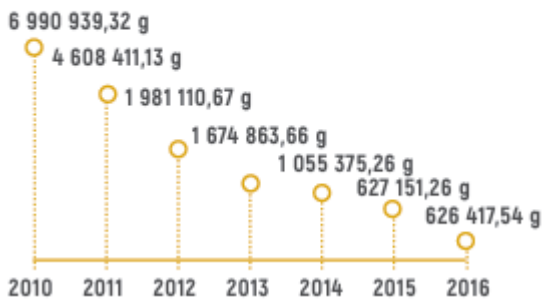


(出所) ベネズエラ環境鉱物開発省 “Catálogo de Minerales de Venezuela (2018年)”

(1) GOLD (ORO)

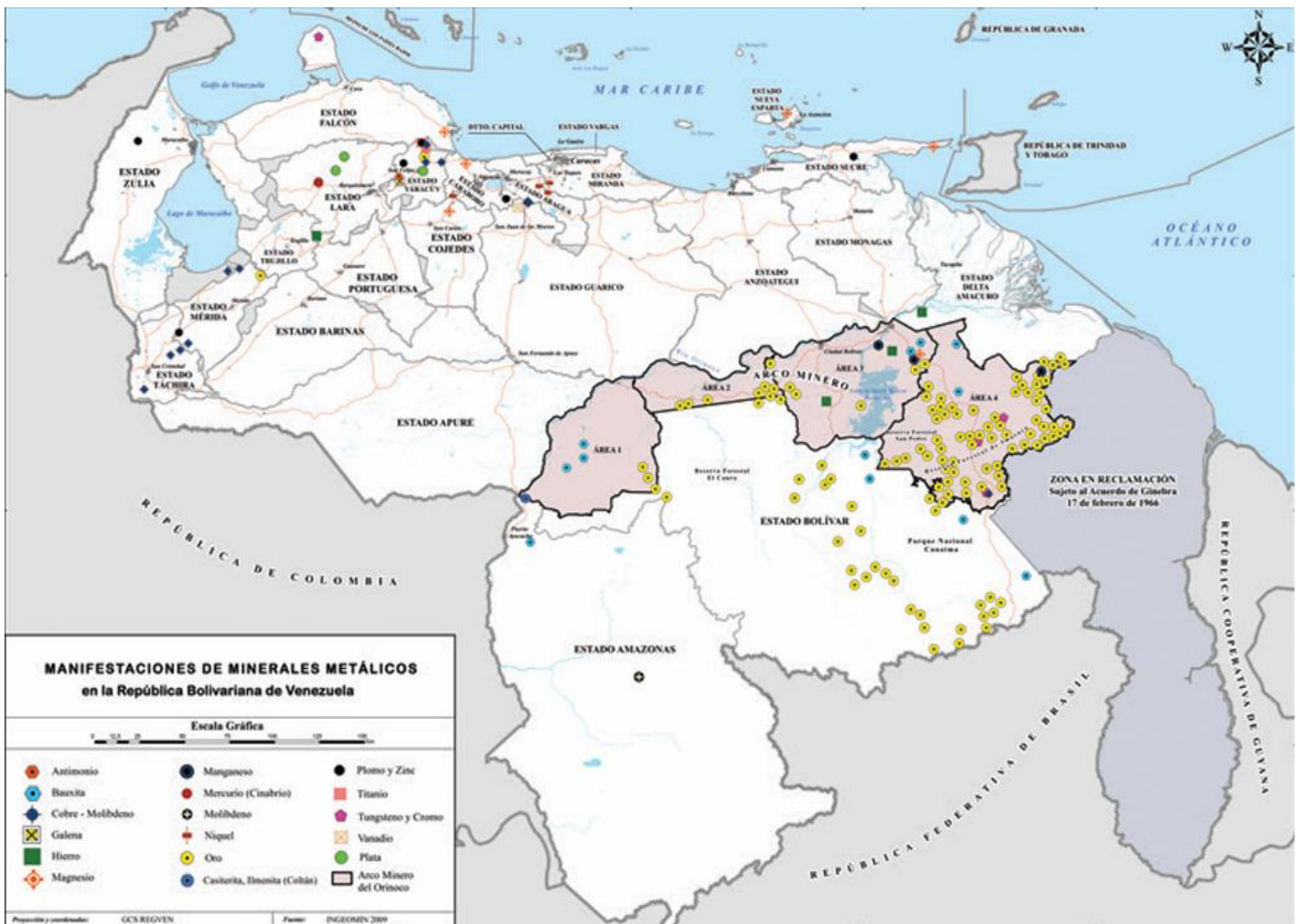
下図は GOLD の分布をより細かく示した図になる。GOLD 鉱床が存在する地域の中でも El Callao 地区は特に重要。この地域は 18 世紀の植民地時代以来、GOLD の主要生産地として知られている。

Producción



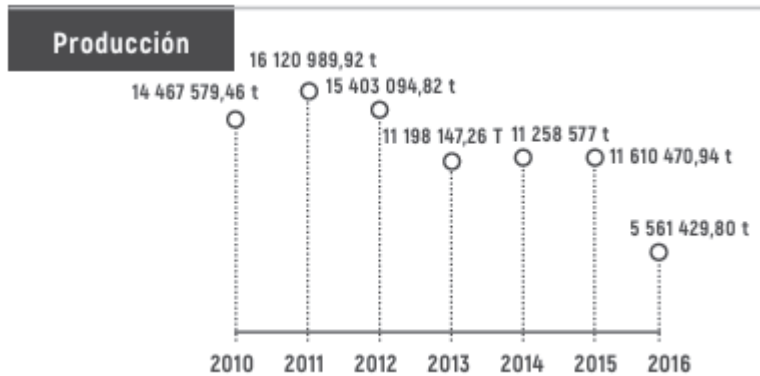
ベネズエラの GOLD を含む鉱石量は、総計約 2.63 億トンと推定されている。鉱石の中に含まれている目的金属の平均含有率を示す指標「平均品位(「その鉱石 1 トンの中にどれだけ金属が含まれているか)」は 2.45 グラム/トン。合計約 644 トンの GOLD に相当する。

なお、環境鉱物開発省のデータ(2016年まで)によると、生産量は 2010 年から減少が続いており、2016 年は 626 キロ(0.626 トン)となっている。



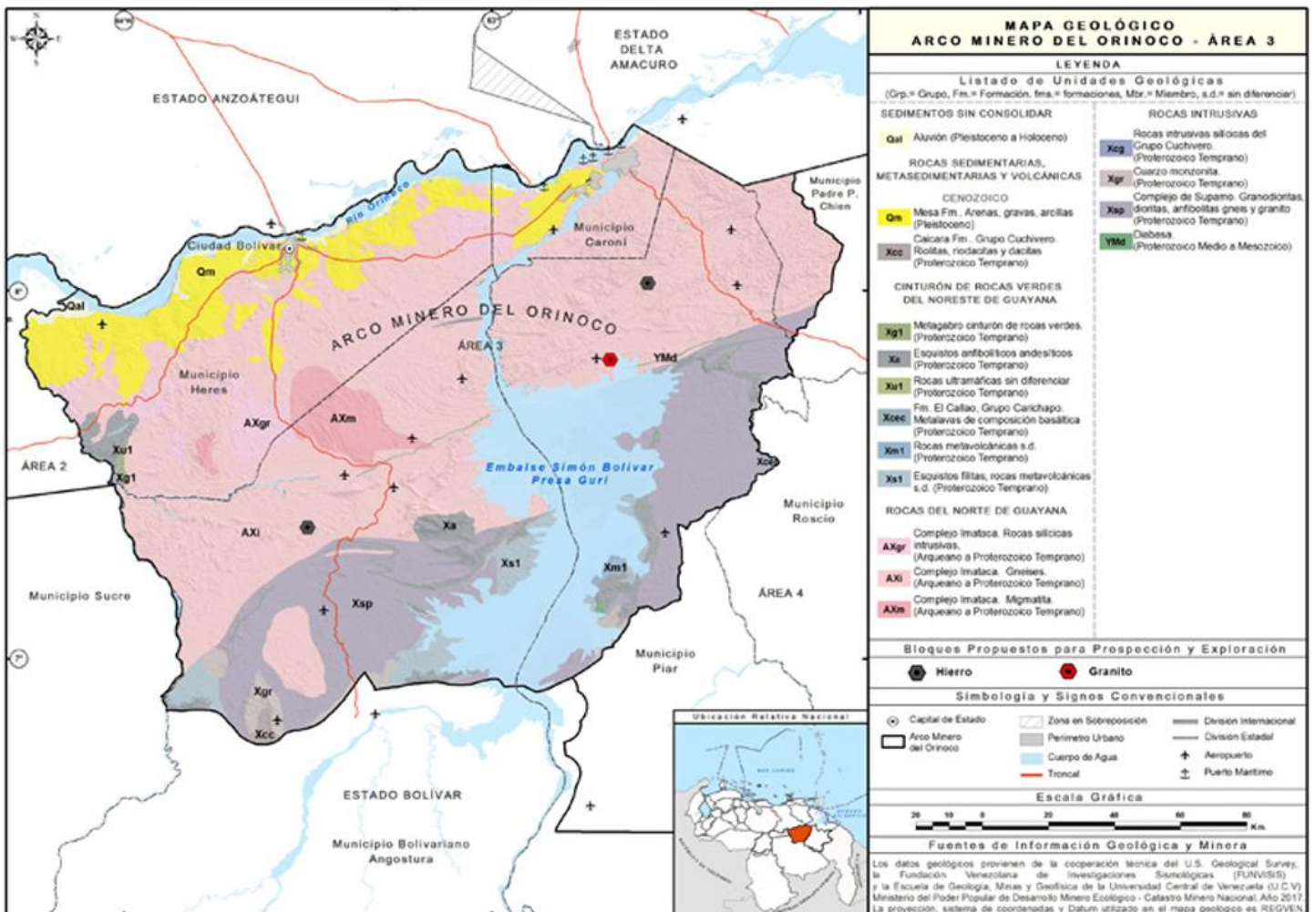
(2) 鉄鉱石 (Hierro)

鉄は単体金属として自然界に存在することはほとんどなく、酸化しやすいため、通常は酸化鉱物の形で存在する。ベネズエラは「ヘマタイト (赤鉄鉱)」「マグネタイト (磁鉄鉱)」「ゲーサイト」「リモナイト」として産出される。



平均品位 (鉄含有量) は 55 ~ 61 %。

鉄鉱石採掘は国営公社「CVG Ferrominera Orinoco」が担当しており、年間生産能力は 2400 万トン。ただし、生産能力と実際の生産量は異なっており、環境鉱物開発省は、2016 年の鉄鉱石生産量について、年間 556.1 万トンと発表している。

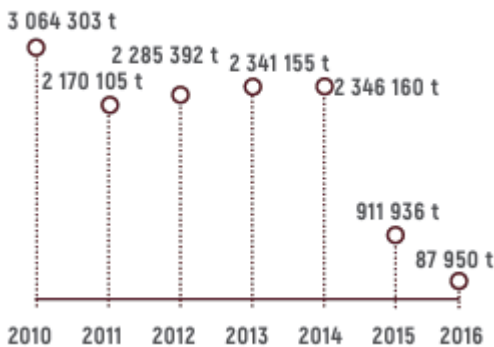


(出所) ベネズエラ環境鉱物開発省 “Catálogo de Minerales de Venezuela (2018年)”

(3) ボーキサイト (BAUXITA)

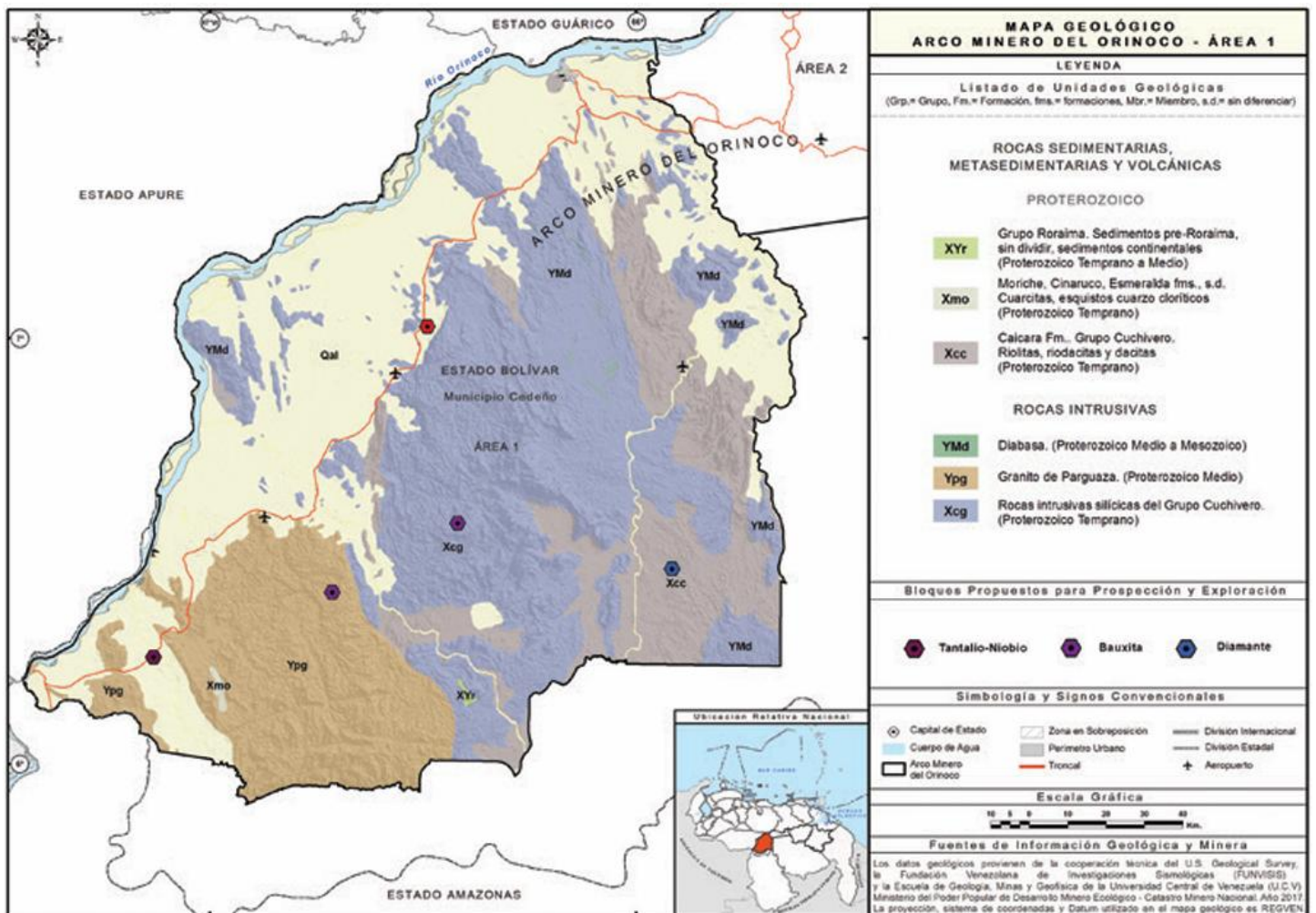
ベネズエラの主要なボーキサイト鉱床は、ポリバル州およびデルタ・アマクロ州に分布している。その中でも最も重要な鉱床はポリバル州のロス・ピグアオス (Los Pijiguaos) 鉱床である。

Producción



ボーキサイトの資源量は、約3億2千万トンと推定されており、推定資源(最も不確実性高い資源)は8800万トン、指示資源(ある程度の信頼性がある資源):1億3400万トン、測定資源(最も信頼性が高い資源):9935万トンとされている。

他の鉱物と同様に生産量は減少傾向にあり、2016年は87,950トンとなっている。



3. ベネズエラ債券・経済指標の増減(3月6日時点)

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比	
国債	2018-I	13.625	2018/8/15	45.40	48.95	47.18	1.56
	2018-II	13.625	2018/8/15	46.10	47.60	46.85	0.59
	2018	7	2018/12/1	36.10	37.50	36.80	1.10
	2019	7.75	2019/10/13	37.65	39.05	38.35	1.59
	2020	6	2020/12/9	35.25	36.75	36.00	1.41
	2022	12.75	2022/8/23	46.70	48.20	47.45	1.23
	2023	9	2023/7/5	40.65	42.05	41.35	1.53
	2024	8.25	2024/10/13	39.20	40.70	39.95	1.52
	2025	7.65	2025/4/21	38.65	40.10	39.38	1.09
	2026	11.75	2026/10/21	46.85	48.00	47.43	1.72
	2027	9.25	2027/9/15	44.70	46.00	45.35	1.40
	2028	9.25	2028/5/7	41.75	43.00	42.38	1.38
	2031	11.95	2031/8/5	46.05	47.25	46.65	1.41
	2034	9.375	2034/1/13	44.00	45.25	44.63	0.79
	2038	7	2038/3/31	38.65	39.85	39.25	0.90
電力債	2018	8.5	2018/4/10	29.90	31.70	30.80	2.67

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比	
P D V S A	2020	8.5	2020/10/27	101.30	102.50	101.90	0.05
	2021	9	2021/11/17	37.70	38.45	38.08	1.20
	2022	12.75	2022/2/17	42.20	43.15	42.68	1.43
	2022(N)	6	2022/10/28	29.10	30.00	29.55	1.29
	2024	6	2024/5/16	33.00	33.75	33.38	4.54
	2026	6	2026/11/15	32.95	33.60	33.28	4.31
	2027	5.375	2027/4/12	31.30	32.10	31.70	2.34
	2035	9.75	2035/5/17	38.55	39.35	38.95	1.63
	2037	5.5	2037/4/12	31.35	32.20	31.78	1.68

	百万ドル	先週比
外貨準備	14,389	△ 0.11

為替レート	ボリ/ドル	先週比
両替テーブル	433.17	3.14
並行レート(Binance)	605.79	0.12

(出所) Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、
Exchange Monitor

解説

トランプ政権がデルシー・ロドリゲス暫定政権を正式にベネズエラ政府と認識した。

「1. (3) 外国の動き」で触れた通り、債務再編の最大の障害がクリアされ、暫定政権下でも債務再編交渉が可能な状況になったと言える。

また、中東地域での紛争によりホルムズ海峡が封鎖され、原油価格が高騰している。

原油輸出国のベネズエラにとっては原油価格の高騰は外貨収入増を意味する。

更に各国は中東の代替となるエネルギー供給国を探す必要があり、地理的に中東から遠いベネズエラが受け皿になる可能性もある。

2026年に入ってからベネズエラにとって追い風となるニュースが続いている。中長期的な不安は残るものの、短期的な先行きは明るい。

以上